

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業点検・評価調書

章	第3章 佐渡金銀山の保存管理	取組項目	地域における景観形成
節			
事業(施策)名	19 市民を対象とした良好な景観に関する啓発活動	事業主体	佐渡市建設課
事業実施期間	H28～H34	関連団体	県都市政策課、佐渡地域振興局地域整備部、佐渡市世界遺産推進課
事業概要	<p>【事業目的】</p> <p>○ 景観保全に関する市民の理解促進により、地域における良好な景観形成を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>○ 地域における良好な景観形成に向けて、地域が協働し、主体的・継続的に取り組むことができるよう啓発活動を行う。</p>		
事業実績	<p>【事業成果】</p> <p>● 広報誌による景観条例の周知 歴史及び文化と調和した景観を守り育てるため、市民への周知を目的に、11月市報お知らせ版に「佐渡市景観条例・佐渡市景観づくり助成事業」を掲載した。その結果、生垣の新規設置について1件の事前協議があった。</p>		
今後の取組・課題	<p>【課題】</p> <p>■ 市民の理解促進により、地域と行政が協働して景観形成を図っていく必要がある。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>■ 広報等を通じた景観条例・景観づくり助成事業の周知を図っていく。 ■ 住民の景観まちづくりの意識啓発を目的に、景観ワークショップを開催する予定である。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 [a (b) · c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a (b) · c]</p> <p>【総合評価】 [A (B) · C]</p> <p>◇平成28年度は、予定通りに周知を行い、市民の理解促進を図った。事業所には、改めて計画の概要や届出制度の説明会を開催したことで、一定の成果が得られた。</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。